



シリーズ『岡山学』9  
岡山の「災害」を科学する  
岡山理科大学「岡山学」研究会・編 吉備人出版  
岡山県内で起こった過去の災害、これから起こりうる災害を科学的に解説。災害対策についても紹介しています。災害が少ないと言われる岡山県ですが、本書の例に接すれば、やはり他人事ではないと感じます。

わくわくチャレンジ  
英語で遊ぼう！

牛窓町公民館

文化祭共催イベント  
パソコン体験講座

10月のわくわくチャレンジは、牛窓中学校外国語指導助手のエドワードさんと文化交流クラブの皆さんによる「英語で遊ぼう！」です。

初めて英語に触れるお子さんでも楽しく学ぶことができますように、英語を使ったゲームで遊んだり、英語の歌を歌ったりします。

▽日時 10月20日(土)

午後1時30分～午後3時

▽場所 牛窓町公民館

▽対象 小学生以下の子どもとその保護者

▽定員 30人

※10月2日から受付開始。先着順・定員になり次第締切。

▽参加費 無料

■問い合わせ・申込先

正午、10月14日(日)午後1時30分～午後3時

「万年カレンダー、うちわ、ポップアップカード、封筒の制作」

10月13日(土)午後1時30分～午後3時、10月14日(日)午前10時～正午

「デジタルカメラ撮影勉強会(初心者向け)」

10月13日(土)午前11時30分～正午

※デジタルカメラ持参

▽参加費 無料

■問い合わせ先

中央公民館



## 映画の上映協力金を「みちのく未来基金」に寄付

3月18日、中央公民館で、東日本大震災で被災した宮城県石巻市などで撮影が行われた映画「エクレール お菓子放浪記」の上映会を行いました。

この上映会は、東日本大震災の復興支援などを目的として、市民団体などが中心となった映画上映実行委員会により開催されたものです。

このたび、上映会で集まった上映協力金など44,710円を義援金として震災孤児の進学支援を行う「公益財団法人みちのく未来基金」に寄付することが決定しました。

多くの皆様のご協力ありがとうございました。

■問い合わせ先 中央公民館



## 瀬戸内発見伝

### 巻の九十三

## 備前福岡と戦国の黒田氏

11月25日(日)に、ゆめトピア長船で、「黒田サミット in 瀬戸内市」を開催します。

「黒田サミット」とは、豊臣秀吉の参謀として活躍した戦国武将・黒田官兵衛(如水)にゆかりの地から、関係者が一堂に会して交流する行事です。官兵衛は、策略や交渉事得意とし、豊臣秀吉の天下統一を助けました。

秀吉は、官兵衛の才知を高く評価するとともに、自分の座を脅かしかねない人物として恐れたと言われています。

黒田氏ゆかりの地としては、官兵衛が生まれた兵庫県姫路市をはじめ、黒田氏発祥の地である滋賀県長浜市、官兵衛が築いた城のある大分県

中津市、黒田氏が江戸時代に藩主であった福岡県福岡市などがあります。

では、瀬戸内市と黒田氏にはどのようなゆかりがあるのでしょうか。

瀬戸内市と黒田氏の関係

実は、官兵衛の父・職隆は、備前福岡(現在の長船町福岡)で生まれています。

黒田氏の記録である『黒田家譜』などによると、黒田氏は、もともと近江国(現在の滋賀県)が本拠地でした。官兵衛の曾祖父にあたる黒田高政は、永正8(1511)年、室町幕府の政権をめぐって起こった船岡山(現在の京都市)

の合戦で軍令違反を犯し、本拠地である近江国に居られなくなり、備前福岡に移って来たとされています。

高政は、大永3(1523)年、備前福岡にて没しました。妙興寺(長船町福岡)の裏にある墓所には、高政の墓があると伝わっています。

高政の子・重隆は、父とともに備前福岡に移り住み、高政が没した後、播磨国姫路に移りました。

重隆の子、職隆は、大永4(1524)年、備前福岡に

福岡の地は、吉井川と山陽道が交わる付近に位置し、中世後期には支配の拠点となる心地となっていました。商業都市としても山陽道随一の繁栄を誇ったといわれます。「一遍上人絵伝」に描かれた「福岡の市」は特に有名です。

また、福岡は、江戸時代には岡山藩の「在町(一定の商業活動の許された村のこと)」に指定されていました。現在も、「市場小路」などの地名が残っています。

福岡県の「福岡」について

黒田官兵衛の子・長政は、父とともに豊臣秀吉に仕えて功をなし、のちに徳川家康に仕えて筑前国(福岡県西部)

を与えられました。長政は、筑前に城を築いた際、黒田氏発展の基礎を築いた先祖の地である備前福岡にちなみ、「福岡」と名付けました(『黒田家譜』巻之十四「長政記」)。

黒田サミット

「黒田サミット」では黒田官兵衛を顕彰する団体なども県外から来市して交流します。備前福岡の歴史について新たな発見があるかもしれません。



備前福岡のまちなみ



黒田家墓所

### 備前福岡について

生まれ、のちに父とともに姫路に移りました。

『黒田家譜』には、職隆が「備前国福岡の城」に生まれたと書かれています。

### 備前福岡について

福岡の地は、吉井川と山陽道が交わる付近に位置し、中世後期には支配の拠点となる心地となっていました。商業都市としても山陽道随一の繁栄を誇ったといわれます。「一遍上人絵伝」に描かれた「福岡の市」は特に有名です。

また、福岡は、江戸時代には岡山藩の「在町(一定の商業活動の許された村のこと)」に指定されていました。現在も、「市場小路」などの地名が残っています。

福岡県の「福岡」について

黒田官兵衛の子・長政は、父とともに豊臣秀吉に仕えて功をなし、のちに徳川家康に仕えて筑前国(福岡県西部)

を与えられました。長政は、筑前に城を築いた際、黒田氏発展の基礎を築いた先祖の地である備前福岡にちなみ、「福岡」と名付けました(『黒田家譜』巻之十四「長政記」)。

黒田サミット

「黒田サミット」では黒田官兵衛を顕彰する団体なども県外から来市して交流します。備前福岡の歴史について新たな発見があるかもしれません。

福岡県の「福岡」について

黒田官兵衛の子・長政は、父とともに豊臣秀吉に仕えて功をなし、のちに徳川家康に仕えて筑前国(福岡県西部)

を与えられました。長政は、筑前に城を築いた際、黒田氏発展の基礎を築いた先祖の地である備前福岡にちなみ、「福岡」と名付けました(『黒田家譜』巻之十四「長政記」)。

黒田サミット

### Books



## 劇画 戦国武将・宇喜多四代

### —岡山城築城物語—

市川俊介…監修 タケバヤシ哲郎…画 吉備人出版

岡山城を築いた宇喜多直家は、瀬戸内市内の砥石城で生まれたと言われています。戦国乱世を戦い抜いた、宇喜多能家・興家・直家・秀家の生きざまを、漫画でわかりやすく紹介。宇喜多氏の歴史を知る入門編に最適です。

今月の月末図書整理日(お休み)は、10月31日(水)です。

■貸し出し・問い合わせ先  
瀬戸内市立図書館 ☎0869-22-3761  
長船町公民館図書室 ☎0869-26-2501  
牛窓町公民館図書室 ☎0869-34-5663  
HP <http://lib.city.setouchi.jp/index.htm>